



第2回評議員会報告

11月27日(水) 県教職員互助組合会館にて、第2回評議員会を開催しました。

その開会前に、県教職員共助会の事業説明が行われ、その後、会長の「今年度も各地区評議員のみならずには、県事協の事業にご協力いただきありがとうございます。昨年度ご協力をいただきました県事協アンケートの集約結果を基に役員で検討しました事業計画(案)を本日提案させていただきます。各地区評議員の忌憚のないご意見や会員への周知・意見集約をお願いできればと思います。」とのあいさつをもって開会しました。

協議では、まず、今年度の事業計画の進捗について、説明・質疑応答等を行いました。そのなかで、県教委によるマニュアル点検の進捗状況や県事協マニュアル等印刷サービスの今後の日程や通知等データがクラウドで公開されている「県事協データ」の取扱いについて、説明し協議しました。各地区評議員を通じてお知らせがありますので、ご確認のうえ活用ください。

次に、次年度の事業計画について説明いたしました。今年度行った、諸会議の回数減や期日の変更は、概ね順調に進んだものと認識して、次年度も同様の回数・期日設定で提案しました。また、今後の県事協のあり方について説明があり、現状報告会について各地区アンケートをとり、第3回評議員会(2/24開催予定)で各地区の意見を集約する運びとなりました。

最後に、次年度予算編成について、今年度の執行状況、次年度事業計画を踏まえ、旅費改正等(1km20円→25円)による運営細則の改正と一人あたりの会費を年額1,900円とする予定であることを提案いたしました。

「現状報告会と印刷サービスに関するアンケート」の実施とお礼

昨年度のアンケートの結果を受けて現状報告会を再会する方向で現在検討を進めています。その実施方法について、会員の皆さまから直接ご意見をいただくために、現在アンケートを実施しています。今後はその結果などを受けて、各地区の負担感を減らし、取りくみやすい形になるように進めてまいります。御協力とご理解の程よろしくお願いいたします。

県教育委員会教職員課・総務福利課にマニュアル等の点検を依頼しました

マニュアル・実務手引書等については、第20次県費事務改善検討委員会において編集作業を進め、無事に原案をとりまとめることができました。特に、通勤手当・児童手当については大きな規則改正等があり、大変な作業になりました。常任委員をはじめ、各地区から集まっていたいただいた検討委員の皆様、本当にありがとうございました。

その原案の点検をお願いするため、10月9日(木)、会長・副会長・事業担当理事の3人で、県教育委員会教職員課・総務福利課を訪問いたしました。そして、12月中旬に点検結果等を無事に受領しました。

県内の学校事務職員が適切な業務を行うための支援の一環として、業務多忙の折にもかかわらず快くお引き受けいただいた県教育委員会教職員課・総務福利課の皆様へ深く感謝申し上げます。

また「『出産・育児』ハンドブック」についても、県教職員福祉事業連絡会の各団体に点検を依頼しました。こちらも快くお引き受けくださいましたことに、厚く御礼申し上げます。

今後は、点検結果を受けて、常任委員の方々に仕上げの編集作業をお願いし、2月中の完成と各会員への提供に向けて県事協ホームページ(以下「県事協HP」)の更新準備を進めていきます。

県事協マニュアル等印刷サービスについて

点検依頼の項でもお知らせしたとおり、マニュアル等のデータ更新に向けて、鋭意、編集作業を進めてきたところでありますが、紙媒体のマニュアル等の加除を行うには、教育用品株式会社が行っている、印刷サービスに申し込む必要があります。地区一括申込み分については、各地区評議員さんを通じて、送付先等を把握させていただいたところです。ご協力いただいた皆様、お忙しい中ありがとうございました。

各地区の事務職員会等の紹介

北薩地区から

・薩摩川内市学校事務職員協議会

旧川内地域、旧薩摩郡地域、甑島地域を統合した研修組織も7年目を迎えました。甑島地域との連携も合同研修会と島内での分散会を併用しながら、薩摩川内市全体としての研修組織として活動しています。昨年度から研修視察も再開しました。市内一斉に視察となると大所帯なのですが、寛大な受け入れ先に恵まれ、貴重な学習の機会を得ることができました。

・甑島の学校事務

現在各校単独配置ですが、学校数の減少により事務職員も減少しました。加えて、配置の状況によっては支援室が準備室となることも予想され、甑島全体で一つの支援室とする議論もあったようです。念願の架橋が実現し、甑島の端から端まで陸路で行けるようにはなりませんが、甑島を1つの支援室として、例えば、おおよその中間として鹿島小学校を拠点校にしても、下甑の事務職員からすると負担が大きく、上甑からも近いわけではありません。現実的には、上甑と下甑の各支援室を維持し、市研修会の分散会を活用した支援室間の交流により、

運営の充実を図ることが現実的かと思います。実際、分散会は島内の事務職員にとって貴重な情報交換、実務研修、業務確認等の場となっています。同じ島内にありながら、地理的、歴史的な相違もあり、上甑と下甑では取り巻く状況が異なり、物品購入や環境整備など、児童生徒の学習環境整備にも工夫が必要です。できることを交流しながら、甑島の学校事務の充実を目指します。



甑大橋を見下ろす展望台です。よくぞこれだけの架橋を実現できたものだと思います。県内最長で海面からの高さもかなりあり、まさに大橋といえます。

・甑島というところ

絶景の島と評されていますが、自然の力によって生み出された景観は甑島の個性そのものです。手打のトンネルを出ると、海に面した手打校区が眼下に広がる様子や、長浜校区から鹿島校区に向かう道路は山の稜線に沿っているため、道路周辺の緑と大海原が見渡せます。どちらも印象に残る風景です。他にも景勝地がたくさんあります。海が近い、どこか周囲が海なので、美味しい魚が身近なことも甑島の魅力です。地元の先輩方に伺うと、めっきり獲れなくなったとのことですが、それでも海の幸に恵まれていることは間違いありません。釣りを目当てに来島する方も多く、憧れの島でもあるようです。日常生活については、本土地域と比較すると諸々の社会基盤が不足している



写真では伝わりにくいと思いますが、まさに「断崖」の鹿島断崖です。個人的には一番印象に残る景勝地です。

のかもしれませんが、普段の生活には十分かと思います。交通手段は船舶ですが、大型船ではないので天候の影響を受けやすいです。天気予報やフェリーの運航状況を確認することが、日課になっていました。串木野港、川内港ともに比較的短い時間で往来できるので、物品の購入や通院などの普段の暮らしにも島民の方々が利用しています。費用はかかりますが、港周辺まで含めて、島民の生活圏という印象でした。異動先としてもおすすめの甑島です。ぜひご一考ください。

県事協の理事をしていました。2010年7月の総代会の様子を県事協だよりに書いています。ホームページと「県事協だより」。つまり広報担当。2012年8月の総代会で理事を辞めましたが、9月発行の75号が最後の編集になっていました。今回、輪番でいちき串木野市から原稿を出すということで、ひさしぶりに何か書いてみようと思ったところです。

テーマは学生時代のアルバイト。約40年前の話です。記憶もおぼろげなものがあります。どのくらいしたかよくわかりません。故郷の串木野で長期休業中に行ったのがガソリンスタンド、年末年始のボーリング場などなど。大学のあある福岡で行ったのが酒屋、結婚披露宴のお食事盛り付け、企業のホームパーティー、測量、引っ越し、デパートの人数調査、車の台数調査などいろいろやりました。

まず、1日だけの単発バイトで屈辱的だったのが引っ越し。自分で勝手なイメージがあって、ほとんどのものは段ボールに詰めて、大勢の人数でリレーするみたい。ところが集合場所へ行ってみると業者のおじさんが一人で待っていました。トラックに乗せられて行った先は明らかに夜のお仕事をされている女性2人の部屋。下着は干しっぱなしだし、本人たちの格好も目を覆いたくなるようなやり場に困るものだったような(笑)。それからは地獄。きつすぎてあまり覚えてないのですが、おじさんが一人で冷蔵庫を背中に背負っていたのは凄すぎたし、「そんな力ないのか」とか罵倒され、昼食のラーメンも半分しか食べられず、「お前、引っ越し向きじゃねーな」と言われ完全にその日はへこみました。

単発バイトでも楽なのはデパートの通過人数調査、車の通行台数調査。これは何度かやりました。日本野鳥の会のごとくカウンターを叩いておけば間違いなしです。ただ、通行する人の年代がいくつか分けられ、車は車種で分けられていたような気がします。

結婚披露宴のお食事盛り付けも単発。2回くらい行きました。賄い付きで、披露宴の料理ですから美味しいに決まっています。最高でした。

夏休みになると串木野では母が中馬採石(株)に勤めていた関係で当時グループ会社(社長はいっしょ)であった共同石油(JOMO~現ENEOS)でバイトさせていただきました。今思えば社員が3人だったり5人だったりいろいろでした。ガソリンスタンドとはいえガソリン入れて窓拭けばいいわけでもなく人や車によっては必ず洗車やワックスがけがセットであり、空気圧も扱いました。ワックスがけは結構大変でした。社長のベンツは気を遣いました(笑)。ジープは軽油だと教えられたので軽油を入れたら、それはジープの形をした軽自動車だからガソリンだ!と叱られ、顧客に謝ることもありました。当時は日本石油地下備蓄の建設中でしたので、トラックに乗せてもらってトンネルの中に入ったのはよく覚えています。

今のニシムタ串木野店食鮮館(マクドナルド)のところにボーリング場がありました。2023年6月閉鎖されました。幼少期から親しんだボーリングですので今でも手書きでスコアを書けると思います。当時はガソリンスタンドが大晦日におちゃくちゃ忙しいのは当たり前でした。正月の三が日は休みでしたから。それで元旦からは夜にボーリング場の靴を貸し出す仕事をしていました。必要があれば受付もやりました。二十歳のお祝いが終わった後、大集団で中学・高校の先輩たちが酔っ払って遊びに来ていました。その中学、串木野西中学校が来春閉校になるとは隔世の感があります。僕が在校中は学年約200人、全校600いたわけですから。

福岡で一番長くやった、一番思い出深いのは南区若久団地にあったアカマツという酒屋です。今はありません。大学3年の終わり3月にアサヒスーパードライが発売されています。爆発的な人気でした。いつから勤めはじめたか

すら覚えていませんが、友達の紹介でした。普段はパートのAさんと(当時くらいから言葉がはやり始めた)「フリーター」のBさんとアルバイトがいました。バーコードなんか無い時代です。レジ打ちに始まり、商品の棚卸し、自動販売機もジュース、アルコール、煙草があり常に補充し、赤電話が10円玉で満杯になると使えないのでこれも管理していました。クリーニングもやっており、ペチコートをはじめて知りました(笑)。軽ワゴンで配達していましたが、団地の中なので配達先がわからないことはほとんどありませんでした。今思い返すと若いですね、エレベーターのない団地でしたが5階までビール大ビン2ケース運んでいました。(引っ越しが如何に大変か…)まあ、運ぶのはいいのですがやはり客商売の辛さはお客です。いいお客さんがほとんどでしたが、Bさんに騙されて「〇〇棟1-103××さんどこ集金に行ってくれない?」と言われ、当然行きましたが夏場の上半身裸の男性…。肩から背中にかけて見事な桜が彫ってありました(笑)。「出直してこい!」と言われ、「はーい」の返事が裏返るのが自分でもわかりました。恐怖しかありませんでした。貴重な経験でしたね。また、別な男性は店でもいろいろでしたが、触法行為で逮捕されました。当時はバイト先までホンダ・タクトというスクーター。20分程かかりましたが、暴力団抗争が激しく道の途中で何人もの警察官が配備されているという期間が長かったです。

バイトのやりすぎだったのかわかりませんが、いや、勉強不足の単位足らずで皆さんとは一緒に卒業できず、追試を受けてやっと3月末に卒業が認められました。二次卒と呼ばれるものでした。何人が除いてゼミの友達とも会うことなくお別れでした。公務員試験もだめだったので串木野の実家に帰りました。

商学部は鹿商卒の人が鹿銀などに就職するように銀行就職者は多かったです。僕は証券市場論というゼミにいたので、親兄弟からもなぜ、証券会社に就職しないのだ、と罵られました。当時、バブルに浮かれていた日本。こんなことが続くはずがないと思っていました。就職浪人して公務員を目指しました。一浪して学校事務職員になりました。数年後、あなたが公務員で良かったと母から言われました。呆れました(笑)。

アルバイトしたことはホントいい経験だし今の仕事にも生かされていると思います。1989年(H.1)沖永良部知名中学校から今の仕事を始めました。

2010年(H.22)の9月にいちき串木野市事務職員研修会に教育長が参加されました。「できるところからやってくれ」ということでした。学校事務の共同実施「学校事務支援室」の始まりです。10月に正式にスタートしました。室長支援をいっばいしました(笑)。今、2度目のいちき串木野市です。中種子町で3年、荒川小学校に来て3年目の室長です。今年度まででしょう。とうとう来年は給料が7割になります。想像がつかません。

来春、中学校が3校なくなります。僕の勤務した羽島中学校も母校も、母の母校も。学校事務支援室再編も大変だと思えます。いろいろなことが混沌としています。やっぱり学校がなくなるのって仕方ないけどよくはありませんよね。

来年度以降のいちき串木野市の支援室状況

拠点校	連携校
いちき串木野市立串木野中学校	いちき串木野市立串木野小学校
	いちき串木野市立羽島小学校
	いちき串木野市立旭小学校
	いちき串木野市立荒川小学校
いちき串木野市立市来中学校	いちき串木野市立照島小学校
	いちき串木野市立生福小学校
	いちき串木野市立市来小学校
	いちき串木野市立川上小学校

あんしん むすぶ
教職員共済 <https://www.kyousyokuin.or.jp/>

ケガ・事故・賠償
レスキューズリー
交通災害共済

一般傷害 日常のさまざまなケガを補償

交通災害 交通事故等によるケガを幅広く補償

ケガ + 賠償
どちらも補償されるから
自転車保険
としてもご利用可能!

個人賠償 日常生活の偶発的な損害を補償

※この共済は、教職員共済の制度である「交通災害共済」と損害保険会社の「傷害総合保険」を組み合わせたものです。
※個人賠償について、車両(自転車は除く)の所有・使用・管理に起因する損害賠償、職務遂行に直接起因する損害賠償は補償の対象となりません。
※ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。 制度内容をご確認ください。 車 24-87-06(2411) 詳しくはこちら

厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合 鹿児島県事業所
TEL (099)225-2587
〒892-0816 鹿児島市山下町4-18 教育会館内
お見積りやお問い合わせもお気軽にどうぞ

共助会の事業案内



- 退会時に会費は生業資金として全額給付しています。
- 定額貯金利率(0.42%)から0.60%に!

給付金の種類 充実した給付金!

結婚祝金・出産祝金・病気慰謝料・災害見舞金・香華料
弔慰金・配偶者弔慰金・現職会員特別給付金・現職会員研修費・永続会員記念品代・新規採用祝金・現職個人会員奨励金等

貯金の種類 高利率!

規約貯金⇒年利0.312%(1年未満0.18%)
定額貯金⇒**年利0.60%**(5年満期、500万円まで)

貸付金 困ったときにご相談ください!

生活資金・特別資金 住宅資金 年利率0.900%、貸付保険料**0.504%**(一般貸付保険料, 細則第6条2項の変更0.750%⇒0.504%。住宅・貸付保険料, 細則第7条2項の改正0.504%。施工日2025/7/1)他に、教育奨学資金・引越資金があります。

保険の団体取扱 割引となりお得!(一部対象外の商品有り)

現在個人でお支払いされている保険を団体扱いに変更されると割引となりお得です。保険会社 生保15社 損保1社

福利厚生事業 超お得!

○映画鑑賞チケット購入補助事業

映画鑑賞料補助1回500円(年度内3回まで)
「天文館シネマパラダイス」「マルヤガーデンズシネマ」「鹿屋リナシアター」「奄美シネマパニック」が対象

※天パラでの鑑賞はお得!セラ駐車場4時間無料!会員割引とあわせて**現職会員1,000円で鑑賞!**※他映画館はシステム上提携できていません。

○鹿児島ユナイテッドFC応援企画

共助会の会員様とご家族を含めた5人までをホームゲームに4回までご招待!(本年度のホームゲーム受付は終了)

○**芸術鑑賞招待事業**(夏季限定)7月号の共助会だよりをご覧ください。

地区活動 お得な企画がもりだくさん!

各地区に地区運営委員会を設置し、地区ごとに活動しています。現職会員も参加しやすい行事もあります。

活動経過及び予定

- 10月 9日 理事会
- 11月 27日 理事会・第2回評議員会
- 1月 9日 理事会・第3回常任委員会
- 2月下旬 県事協マニュアル等発送
ホームページ更新
- 2月 24日 理事会・第3回評議員会

詳細はホームページをご覧ください! →



〒892-0852 鹿児島市下竜尾町3番1号
電話 099(226)5953
FAX 099(226)5955
H P <https://www.kyojo.jp>
メール info@kyojo.jp

編集後記

編集後記は、何を書けばいいのかよくわからないので、学校で働いていて感じることを書いてみます。今回は『中学校の部活動の地域移行』です。私は、初任校が中学校でした。1年目から“女子バレー顧問”2年目に全校女子生徒が6名未満になり、廃部になり、3年目からは“男女ソフトテニス顧問”を経験しました。(やりたくてやったわけではないです)それで、この話題には興味があります。

私の娘は、現在中1でバドミントンをクラブチームで活動しています。中学生になる時に「部活動にするか？クラブチームにするか？」かなり悩みました。バドミントンは、クラブチーム化がかなり進んでいて、小学校からの経験者は、ほとんどがクラブチームです。娘の希望は、クラブチームでした。私は部活動がいいと思っていましたが、娘の「バドミントンに対する熱い熱い思い」に負けてクラブチームに加入しました。

前から思っていることですが、地域移行が進めば経済的に余裕があって送迎などを保護者ができる家庭はいいですが、そうでない家庭の子どもは、今より選択肢が減り、部活動などのスポーツをする子どもがだいぶ減るのではないかと危惧します。今までのように、子どもたちがさまざまなスポーツを選択でき、活動できるように国はしっかり予算増額などの対策を講じてほしいです。

最後にひとこと。日本は、もっともっと教育にお金をかけるべきだと思います。国は「少子化対策」を本気でしてほしい。教育などの少子化対策は、未来への”投資”なのだから…

柳